

刊夕日三十月二十



定額 一月一元五角 三月四元 半年八元 一年十五元
廣告料 第一二三號 一行金五拾圓
日曜 祭日 休刊
發行所 常警日新聞社
印刷所 常警日新聞社

犯罪防止に就て (一)

平警察署長 横山宗延

刑事警察の要諦は、已發の犯罪をして最も合理的に且つ最も速に検挙すると同時に、常に犯罪發生の傾向を考へ、其手段方法等を究明し有効適切な豫防対策を講じなければならぬのであります。而も各種犯罪は世運の進展と共に逐年増加の傾向を示し、其手段方法益々精緻を極め、殊に世想の悪化に伴ふ犯罪の態様は組織的に將文集團的に大規模の計画的犯罪の頻發を見るに至り、刑事警察の前途愈々多端を加へ、これが振否は社會の平安と民衆の權義保全に重大なる關係を有するが爲め、常に施設の完備と刷新とを要望して止まないものであります。然しながら社會事象の進展は特高交通保安其他特殊勤務者の増加を必要とせらるるので刑事警察の第一線に立つべき刑事事務者の増員は全く困難なる現況にあるのであります。

如斯限りある豫算と警察力を以て限りなき犯罪の検挙に當ることは極めて困難であります。故に無限に發生する犯罪を悉く検挙すること到底望み得ないの

- 定め、廣く一般民衆の自警共衛觀念を喚起すると共に其普及徹底を圖り、併せて犯罪捜査の援助を乞はんとする次第であります。
- 犯罪の豫防警戒事項
- 一、一般家庭に對する注意
 - (一) 戸締り油断の注意
 - 1 各戸に於ける戸締りの設備を嚴重になさしむること
 - 2 戸締りの設備あるも之を怠るものあるを以て注意すること
 - 3 戸締りの設備あるも外部より容易に取外し得られるものなきや
 - 4 一家留守のとき戸締りを勵行する様注意のこと
 - 5 戸締りの不完全なるものは改善せられんこと
 - (二) 物品放置の注意
 - 1 衣類其他の干物を夜間屋外に放置せしめざる
 - 2 自轉車を雑沓の場所又は夜間戸外に放置せしめざる
 - 3 高價なる植木類を公衆の自由に交通し得ん場所に放置せしめざる
 - (三) 奸商に對する注意
 - 1 債券の月賦販賣其他物品の賣買に對し利益の伴ふべき甘言を弄さん者ある時は慎重の調査をなしたる上取計をなす様注意すること

2 不時の災難に遭遇したる如く裝ひ同情を請ふ者に關しては注意せしむること

毛糸

今年度新色全部入荷致しました。相變らず御引立の程を。
(色見本帳進呈)

合名 會社 **ハシモトヤ糸店**
平・田町 電話十四番

醫學博士 **渡部義夫**

女 **渡部きい子**

平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需 **渡部外科**

愈々公開 十四日ヨリ

十二世の驚異映畫 **グンキ**
全發聲 **グンコ**

毎日 平館 晝夜

美味いと思つて食べると何んでも滋養になると云ふ譬で風味のよい滋養御飯が炊け最も經濟に安全簡易に御使用の出来る

特許一八七四三〇石山式

商標地球印 **石綿ムシカマド**

を皆様にお勤め申します

特長 **石綿ムシカマド**は

一、滋養のある「オネグ」が少しも溢れませんが、申分のない榮養食になる譯です。玄米、胚芽米、半搗米でも榮養價値を失ふ事はありません。

一、普通土製ムシカマドの様に木炭熱量を吸収することなく、石綿天然性により遮熱作用により木炭消費量の低減を計り燃料は最も經濟です。

一、ムシカマドに最も必要なる保温を目的とする原料を高級石綿(加奈陀産)と最も効果的に配合してありますから永く保温を持続致します。

一、普通土製ムシカマドの三分の一の輕量ですから御老人御子供さんでも御使用が出来、誠に安全で簡易です。随つて破損の憂もありません。

一、御使用になればなる程、強靱を増し永久御使用に堪へます。若し破損の場合は部分品は自由に御取換が出来ます。

一、火の元は絶對安全ですから警察でも獎勵されて居ります。

一、堅牢無比、高尚優美、部分品取換の自由、輕量のため取扱の簡便安全、燃料の節約等普通ムシカマドの缺點を遺憾なく補足し、その上價格低廉。

一、外觀は高級塗料を以つて防水防熱に適し、銀色仕上げ故最も高尚優美な点は他の追従を許しません。

特許一八七四三〇號

石山式地球印 **石綿ムシカマド製造元**

石山商店

石綿工場

平材木町三〇 電話一三七

中村齒科醫院

平町 鍛冶町七

夏井川の改修も

人夫が不足

今迄の出働者

延べにして約十萬人

既報夏井川改修工事は六ヶ年の繼續工事として本年は工費三十五萬圓で沿岸草野神谷夏井、赤井、平窪等各村の基礎工事を終り明年三月迄に築堤工事を進める豫定で出役人夫は毎日各村農家

受験準備を緩和

平常の成績に主もきを置き

準備の教育を復習の程度に

平第二校の方針

平第二小學校に於ける本年度高等女學校入學志望者は六年八十一名、高一十九名高二二名、合計百二名で昨年比し四名の増加であるが昨年の合格者平常の成績は平均八点以上が大部分を占め六點以下は不合格であつた所から本年は平常の成績六點以下の者は受験させぬ方針で進むと尙ほ準備教育も受持教師が自宅に受験生を集めて準備するは絶対に避け希望者へのみ放課後一時間宛科目の復習をさせる程度に止める由

平商級長選挙

平商では本日放課後全學年一齊に後期正副級長の選挙が行つた

試験の公魚卵分譲に就いて希望者斡旋方を依頼されたが希望者は左記事項の通り本月廿日迄に申込まれ度へ

- (百二十萬粒)
- 一、運搬時期二月中
- 一、五十萬粒未満十八錢
- 一、百萬粒未満十三錢
- 一、百萬粒以上十三錢
- 一、運賃箱代等を要す

自給肥料の

解決に推肥講習

濱三郡各町村の自給肥料増殖を計る推肥講習會は来る十五日より三日間神谷農事

平町外九ヶ町村

聯合の俵米品評

平町外内郷、好間、赤井、草野、神谷、飯野、小川、大浦の九ヶ町村聯合俵米品評會は来る十五日より三日

各町村別貯蔵量

昨日の協議で決定

昨報郡下各町村の穀貯蔵奨励協議の結果は叔の持合せのない平町と内郷村を除いて

- り明年十月卅一日迄で期間中は一石に付月十錢の縣補助を支給されるから補助希望者は来る廿五日迄に縣に申請され度いと縣より割當られた各町村の貯蔵高左の如くである
- 泉八五〇石 渡邊三二〇
- 石 植田四六〇 山田五九〇 錦八一〇 勿來八六〇 上遠野六四〇 入遠野二九〇 川部四九〇 田人一九〇 飯野五九〇 夏井六四〇 高久四七〇 豊間六〇 江名二三〇 鹿島二九〇 小名濱五〇 玉川九〇〇 磐崎八九〇 湯本二二〇 好間三九〇 赤井六六〇 河戸一五〇 澤渡九一〇 神谷五〇〇 草野一二二〇 大浦八九〇 四倉一一〇 大野八一〇 平窪四八〇 小川四六〇 川前一二〇 計一七三〇〇石

常設館たより

平館 日活現代劇 杉狂児 如月玲子主演 結婚適



公魚卵の分譲斡旋

希望者は

平役場へ

平町では今回茨城縣水産試



巻の話題

餛飩粉とアヒ酸

河沼郡廣瀬村佐藤辰藏方ではその日祖母の一周忌に當るの夕食に天ぶらを揚げ一家舌鼓を打つて食べたまでにはうまかつたが間もなく苦悶し出し吐くや下るから大騒ぎ、六人は助かつた

ウーツ、カーツ、ベツ

そう言へばどうやら俺も腹が痛いぞ、あら妾もよ、きつとあの夕飯の上にかつてゐた、イタタ、白い粉が怪しい、そうらしいねウーツ、カーツ、ベツ

ウーツ、カーツ、ベツ

そう言へばどうやら俺も腹が痛いぞ、あら妾もよ、きつとあの夕飯の上にかつてゐた、イタタ、白い粉が怪しい、そうらしいねウーツ、カーツ、ベツ

ウーツ、カーツ、ベツ

そう言へばどうやら俺も腹が痛いぞ、あら妾もよ、きつとあの夕飯の上にかつてゐた、イタタ、白い粉が怪しい、そうらしいねウーツ、カーツ、ベツ

齡記 日活時代劇 杉山昌三九 山田五十鈴主演 男才兵衛一生旅 ユナイデツト彩色發聲漫畫 森の朝 アールケーオー全發聲フエイロバートブルースキヤボット主演 キングコング

伏見信子主演 東京音頭 平町人事 結婚 姻 三丁目三六 坂田千平氏 (二三) 鹿島村宇木船二三 鈴木節子(二〇) 回死 亡 大町一八 宇吉氏姪高羽 キミ(三ツ)

祖母馬目ナチ病氣加療中の處十三日 午前五時死去仕候 追而葬送ノ儀ハ十二月十五日午後二時自宅出 棺清光院ニ於テ佛式ニヨリ相營候 十二月十三日 石城郡内郷村 馬目 太平 治

三井 タクシー 平町二丁目 電話六八五番

美味で！ 評判の... イワキ サロン 電 352

満洲目がけて

本郡産野菜が進出

加工輸送の方法完成近し

受けるであらうと

交通安全

道路標札

小名濱町で

神谷農事試験分場の矢ヶ崎
技手は満洲方面の寒期に於
ける野菜の欠乏にヒントを
得て郡産野菜を加工して移
出を計るべく本日平菜や人
蔘に依り第一回の試験を行
つたが野菜を先分乾燥せし
めたのを寒地では熱湯を掛
けて蘇生せしめ食用に供す
るものにて色澤も味にも何
等の變りもなく大量生産の
曉は満洲に於いて大歓迎を

小名濱では市街の發展につ
れ車馬の往來が益々頻繁な
ので事故防止の爲め今回市
内十四ヶ所に交通安全の道
路標札を立てる事になつた

旅役者と...

家出したが

甚だしい虐待に

空腹の身を平驛に

昨十二日夜九時頃平驛待合
室で十八、九才の娘が呻き
つゝ悶倒したので平署員が
保護を加へ事情を聞くと同
人は伊達郡立子山村大字若
上内字長坂居住農今朝五郎
二女岡島タマ(九)といひ去
月十二日同村の旅役者石城
郡内郷村生れ加藤某(三)と
懇ろになり夫婦約束をして
家出し加藤の兄に當る加藤
正夫(六)が營んで居る内郷
村宮のエビスカフエーに働
いて居たが一家の者から虐
待される辛さに耐えず十二

日午後六時頃無一物で平町
まで逃走して来たものの空
腹の爲め斯くの始末と判明
した

師範二部

志願が多い

磐女に於ける本年度上級學
校入學志望者は卒業生百六
十八名の中目下の處四十名
で毎日放課後一時間宛日野
土岐(數學)淡路(國語)鈴木
(英語)各教諭指導の下に準
備教育を行つてゐるが志望

平商教練に

武技を磨く

實彈射撃を練習

定であると

平商では從來教練に際し射
撃は附近に適當な射撃場が
なかつたのでほんの型ばか
りに止めてゐたが今後は毎
週一回宛駒場配屬將校引率
の下に神谷村に竣工した射
撃場に至り實彈射撃の教練
を行ひ大いに武技を磨く豫

投身女教員は

磐崎村の出身で

磐女第三回卒業生

東京市教育疑獄に連座して
急死せる小石川高等小學校
長郡司宗雄氏との縁故的機
性となり夫と三兒を残し水
戸市外那珂川に入水自殺を
遂げた女教員は本郡磐崎村
宇馬玉吉田豊助氏四女東京
市麴町富士見町小學校訓導

明日のラジオ
十四日
天の風晴曇半す
今夜も明日北西

今晩の部
後六、〇〇(子供の時間)
お話「湖はどうして出来
たか」中村道太郎
後六、二五(ことばの講座)
「外人の國語研究」東條操
後七、三〇(經濟座談會)
「國際經濟の動きと日本」
司會者 大阪朝日新聞社
飯島幡司外

明日の部
後八、四〇(義太夫「假名
手本忠臣蔵」(第九日)
十段目
後九、三〇(時報 ニュー
ス 氣象通報 番組豫告
後七、〇〇(基礎英語講座
(四十一)岡倉由三郎
後九、一〇(料理献立「ハ
キ速記術の講習會を催した
が受講生徒は三十六名であ
つたと

初日の出を

海岸で拜す

四倉の新年會

四倉町鷄鳴會では例年正月
元旦の互禮會を料亭で催し
たが非常時の折柄なので來
春は同地海岸で催し終つて
諏訪神社を参拜すると

平職界紹介所報告

求人を求める方
△商店員 十八才 高卒
仕着外三圓
△粕 四十迄 月十三圓
外面談
△指物見習工 十五才 尋
卒 仕着小遣
△炊事婦 二十才 月四圓
位外面談
△回職を求める方

タハタの羽二重」... 野
新一
前一〇、三〇 家庭メモ
前二〇、三五 家庭講座
「虚禮を廢した年始と歳
暮」村田志賀子
後〇、〇五 吹奏樂海軍々
樂隊指揮 内藤清吾
後二、〇〇 家庭大學講座
「家庭教育の振興」八母の
使命 東京府立第五高等
女學校長 白石正邦
後五、〇〇 東北民俗行事
講座(第五講)櫻井壁山
後五、三五 受験講座「英

文解釋」佐川春水
後六、〇〇 子供の時間
お話「發聲漫畫の出来る
まで」大石郁雄
後六、二五 基礎佛話講座
(二十六)目黒三郎
後七、三〇 講演「硫黄バ
クテリアに就て」廣島高
等師範學校教授 濱健夫
後八、〇〇 謠曲番噺子
「小袖會我」實生重英外
後八、五〇 合唱とオルガ
ン(合唱)東北學院教會聖
歌隊(オルガン)獨奏と伴
奏)黒沼半四郎

看護婦急派

の求めに應

じます

平看護婦會

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雜誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町

電話一〇七

木村外科醫院

平町五丁目橋際

電話九〇三番

△配達夫 二十二才 商卒
給料面談
△給仕 十四才 中一修給
料面談

銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演
山本英春畫
德川家に崇る村正

岡崎三郎殿の最後

家「今亂世にして大國の間に介まる徳川、頼む處は偏に織田信長殿あるのみはずかしながら家康は智恵足らず兵少く國小さくして今日信長の機嫌を損する時には是までの深慮遠望も水の泡と相成る其方も知れる如く我家は代々岡崎を領し、今日幸ひに信長の恩顧に依つて、領地も次第に殖え、家も盛りを見るに至りしに一朝事を過る時は遂に全く其家を失はなければ相成らん然れば我とても子を思はざるにはあらねども國の爲め家の爲めには替へ難へ親吉家康の胸中を推量いたして呉れよ」

と御落涙の体でございませうソコデ七之助が
七「恐れながら申上げます此上は御側に附添つて居ります私とて、何卒切腹仰せつけられ之を首級として信長殿へ送り下さるべく信康公の御身代りとして、其臣平岩七之助が後悔して切腹いたしたる趣きを述べ、御辯解に相成りましたのは如何」

と申述べると家康公に於ては兩眼に涙を浮べ



んで御前をさがりました、信康殿に於ては何う致しても御腹を召さなければならん場合に立至り、九月十五日表向天方山城守道經、服部半藏正成此の兩名を三州二侯の城へ上使としてお遣はしに相成りました。此方の岡崎次郎三郎信康殿は兩人に御對面に相成り、最早覺悟の上でありますから今更惡怖れたる体もなく、兩人に謹んで家康公の上意の趣きを述べると、信康公お手を仕へて

首を信長公に見せたりとて其志は愛でらるゝともそれにて信康の命を助けるといふ氣支ひは決してない、親吉、其方も諦め呉れよ』と最早御断念の様子でございます、ソコデ七之助がなにかから平岩七之助も涙を

りし信康が母人の心を繼いで武田勝頼と一味して父君を失ひ参らせ、信長公をも弑逆いたして織田の所領をば横領なさんと云ふは我には覺えない事なれども茲に及びて生害いたすは天下泰平の基と存すれば更に我が一命は惜み申さず、死後に至つて父上へ兩人より能々申上げられ、信康は謀叛露顯に及んで、申譯の爲に生害いたすのではない、疑ひゆゑに生害仰せ附られ、天下泰平を思ふに依つて身一ツを亡ぼすのであるから此世に思ひ置く事實にない潔く切腹いたすに依り、篤と見届け呉れよ』

と言ふ仰せ、是程のお方が平素何で亂暴をしたかと思ふに思ふ位、ソコで忽ちの間に御座の様子も變つて豫て覺悟の上であるから既に裝束お召替になり、切腹の座に直られると
信「如何に服部半藏、其方は年頃馴染なれば介錯の儀を申附ける、心地好く冥土に赴かれる様宜しく介錯いたして呉れよ」
と仰せがあつて忽ち切腹を遂げられたから服部半藏鬼を欺く程の豪傑だがお年僅かに二十二歳、開き掛つた蕾の花を散らすことの情けなく涙と共に後へ廻つて介錯いたし、山城守傍にあつて檢死見届も滞りなく相濟みまして、御亡骸は二侯城の背の山續き小松原と云ふ所へ葬り、法號を驗雲院殿達岩喜通大居士と申し傍らに庵室を設けて、跡懸ろ

に用ひました、天方服部の兩名は濱松へ立歸つて有りし次第を家康公へ言上に及ぶと家康公は一言も宣はず只左様かと仰られたるなり兩眼を閉ちて居られましたが稍あつて本多平八郎、榊原小源太の兩人を御前へ召され
家「平八郎小源太、其方達も岡崎三郎とは懇の間柄殘念の事に相成つたの一遍の念佛を唱へ回向を致し呉れよ」
と云ふ仰せ兩人も御胸中をお察し申上げて涙に暮れました。

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

市原醫院

平町田町
電話一〇番

磐城セメント會社特約店

久全産屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は久の生命なり

門 專

産科 婦人科 花柳病科

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

◎入院隨意

外科 X 光線科

性病科 外科

安齊外科醫院

平町田町 電話四七五番

入院隨意

吉田眼科病院

眼科専門

院長 吉田 安雄

醫學士 吉田 久雄

平街屋町 電話六八番